



こんにちは日本共産党です ハ千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

日本共産党
ハ千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



日本共産党ハ千代市議団メール: kyousan@jcp-yachiyo.jp

第 702 号

2026 年 9 月 9 日

発 行

日本共産党

ハ千代市議会議員団

ハ千代市大和田新田

312-5

資源物収集有料化の方針は撤回せよ！！

ハ千代市は2000年4月より、家庭ごみの収集手数料を徴収する事を決めました。（有料ごみ袋化）有料化の根拠について、市のホームページでは「ごみ減量の意識を持つことを目的」としています。6月議会の答弁では、「経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進」と述べています。

9月3日の議会で、伊原忠市議は、「経済的インセンティブを活用」を簡単に言うと「ごみで出せば有料、資源に出せば無料」と言うことで良いか？と質問しました。

この質問に対し経済環境部長は「今後につきましては、プラスチック類の収集など、資源物であっても有料化の検討は必要」と答弁しました。

今、無料で収集されているものまで含めて突然に「有料化を検討する」との答弁がされたことに、議会を軽んじているとしか思えず怒りを感じました。

みなさん、今のハ千代市の条例では資源物は無料収集となっています。

そもそも有料化を進めるにあたってハ千代市は「ごみで出せば有料。資源で出せば無料」との枠組みを作って市民に強引に納得させてきた経緯があります。その枠組みを今度は勝手に壊し、「びん、カン、ペットボトルや紙類まで含めて有料化」を検討しているなんてとんでもありません。市民の意見も聞かずに進める乱暴なやり方と言えます。ハ千代市は資源収集有料化の方針を撤回すべきです。

国は経済的インセンティブを進めている

ハ千代市は2028年10月に「プラスチック類の分別収集及び再商品化の方針に基づく分別収集をはじめるとしています。

国も各自治体に資源の再利用を進めるにあたり、経済的インセンティブという言葉を使っています。市民のみなさんがどうしたら積極的に収集してくれるか？を考えたときに有料化されたら、逆に「今まで通りごみとして出しても同じでは」と考えてしまいます。経済的インセンティブは働きません。

また、「プラスチック類に関わる資源循環の促進に関する法律」には「国の責務」として第5条に「国はプラスチックに係る資源循環の促進等に必要な資金の確保その他の措置を講ずるよう努めなければならない」としています。費用負担は国に求めるべきです。

日本共産党はこれまでのハ千代市の条例に則って、資源物の収集は無料で行うべきと強く求めています。